

高岡市こども計画 各評価指標の進捗状況について

資料NO.1

高岡市こども計画（計画期間：令和7年度～令和11年度）では、5つの基本目標を掲げています。それぞれの基本目標に対し、重点的に取り組むべき事項について計15の評価指標を設定しており、その進捗管理を行いながら、高岡市こども計画に掲げる各種施策に取り組んでいくこととしています。

【進捗状況】
 ●達成・・・令和11年（目標値）を達成
 ●向上・・・令和6年（基準値）と比較し、向上
 ●低下・・・令和6年（基準値）と比較し、低下
 ●その他・・・令和6年基準値と比べて変化なし、またはおおむね横ばい
 ・・・・3指標
 ・・・・7指標
 ・・・・4指標
 ・・・・1指標

No.	基本目標区分	評価指標	令和6年度実績（基準値）	令和7年度進捗				令和11年（目標値）
				令和7年度実績値	令和7年度 実績値の評価	今後の方針	進捗状況	
1	基本目標Ⅰ 全てのこどもへの支援体制づくり	産前産後支援事業所数（産後ケア、産前産後ヘルパー事業所等）	10事業所	13事業所	産後ケアについては、令和6年度より3事業所増加し、11事業所となった。また実施事業所がショートステイは2か所、デイケアは3か所、訪問ケアは1か所増加した。	産後ケアについては、対象者のニーズに合わせ、事業所への委託内容を検討し、利用者の支援に努める。 産前産後ヘルパーについては、引き続き、需要に応じた供給体制の確保に努めていく。	達成	12事業所
2		多様な保育サービス実施事業所数（病児保育、病後児保育、体調不良児保育、一時預かり、延長保育、休日保育、誰でも通園制度医療的ケア児事業所等）	109事業所	111事業所	令和6年度より2施設（2事業）増加した。（乳児等通園支援事業、体調不良児対応型事業）	引き続き、需要に応じた供給体制の確保に努めていく。	向上	112事業所
3		乳児家庭全戸訪問実施率	99.8%	100%	すべての対象児に対して、訪問をすることができた。	引き続き目標を達成できるよう、妊娠中から情報提供や相談対応等を行い、出産後の家庭訪問に繋げる等、切れ目ない伴走支援に努めていく。	達成	100%
4	基本目標Ⅱ 全ての子育て当事者への支援体制づくり	ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数	—	4事業所	令和7年度は4事業所の新規認定となった。	各事業所の取組紹介や講演会の開催による啓発活動のほか、市SNSや関係機関を通じた広報活動に取り組み、事業者等への認定申請の働きかけを行っていく。	向上	30事業所
5		子育てが地域や社会で支えられていると感じる人の割合（アンケート）	35.4%	30.3%	5.1ポイント減少した。	子育て当事者が安心して子育てができるよう、ニーズを踏まえながら、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりに努めていく。	低下	50.0%
6		1人当たりの子育て支援アプリのアクセス回数	15回／年	13回／年	令和6年度より2回減少した。	プッシュ通知の回数を増やすなど情報発信の充実を図り、目標を達成できるよう努めていく。	低下	52回／年
7	基本目標Ⅲ 地域社会全体で子育てを支援する環境づくり	放課後児童クラブの受入児童数	1,449人	1,505人	令和6年度より56人増加した。	公設クラブの安定運営を確保するとともに、民設クラブの拡充を図り、公設・民設併せた受け皿の確保に努める。	向上	1,654人
8		民設民営放課後児童クラブ数	5事業所	6事業所	令和6年度より1事業所増加した。	民設クラブの誘致を積極的に行い、民設クラブの拡充に努める。	向上	9事業所
9		公設民営放課後児童クラブ数	35事業所	35事業所	令和6年度と同数である。	令和8年4月には下関小学校区において、公設クラブ1クラブを新たに開設しており、支援員確保や事務負担軽減などの支援を行い、公設クラブの維持に努める。	その他	36事業所
10		こどもの居場所数（地域子育て広場、こども食堂等）	11事業所	14事業所	令和6年度より3事業所増加した。	こどもの居場所開設の相談があった際は、補助金活用の助言をするなど、開設支援を行う。 また、地域団体や起業・創業等を検討している方等に対し働きかけ、居場所の拡充に努める。	向上	31事業所
11	基本目標Ⅳ 支援が必要なこどもや家庭を守る体制づくり	特性のあるこどもの支援事業所数（放課後等デイサービス、児童発達支援、医療的ケア等）	50事業所	51事業所	令和6年度から1事業所増加した。	引き続き、利用者ニーズを捉えながら、充実に努める。	向上	60事業所
12		支援団体数（こども食堂、学習支援事業所、子育て世帯訪問支援事業所等）	8事業所	12事業所	令和6年度から4事業所増加した。	支援が必要なこどもを含めたこどもの居場所づくりの拡充及び支援の体制づくりに努める。	向上	13事業所
13	基本目標Ⅴ こどもの意見を大切にした施策づくり	児童生徒へのアンケートの回答率	57.1%	47.4%	9.7ポイント減少した。	中学生については、引き続き学校と連携しながら、回答率の向上に努める。	低下	70%
14		高岡に住み続けたいと回答する児童生徒の割合（アンケート）	37.1%	30.4%	6.7ポイント減少した。	高岡に住み続けたいと思ってもらえるよう、様々な機会を捉え、こどもの意見聴取に努める。	低下	50%
15		こどもまんなかのイベントの数（参考 市のイベント一覧98件）	—	123件	こどもが参加できるイベントを123件実施した。	引き続き、各イベントにおいて、こどもが参加しやすい、楽しめるしかけづくりに努める。また、地域や企業とも連携し、こどもが楽しめるイベント数の増加に努める。	達成	80件

【調査概要】

- ・調査期間：令和8年2月5日～令和8年3月23日
- ・調査方法：郵送による配布、WEB 回答

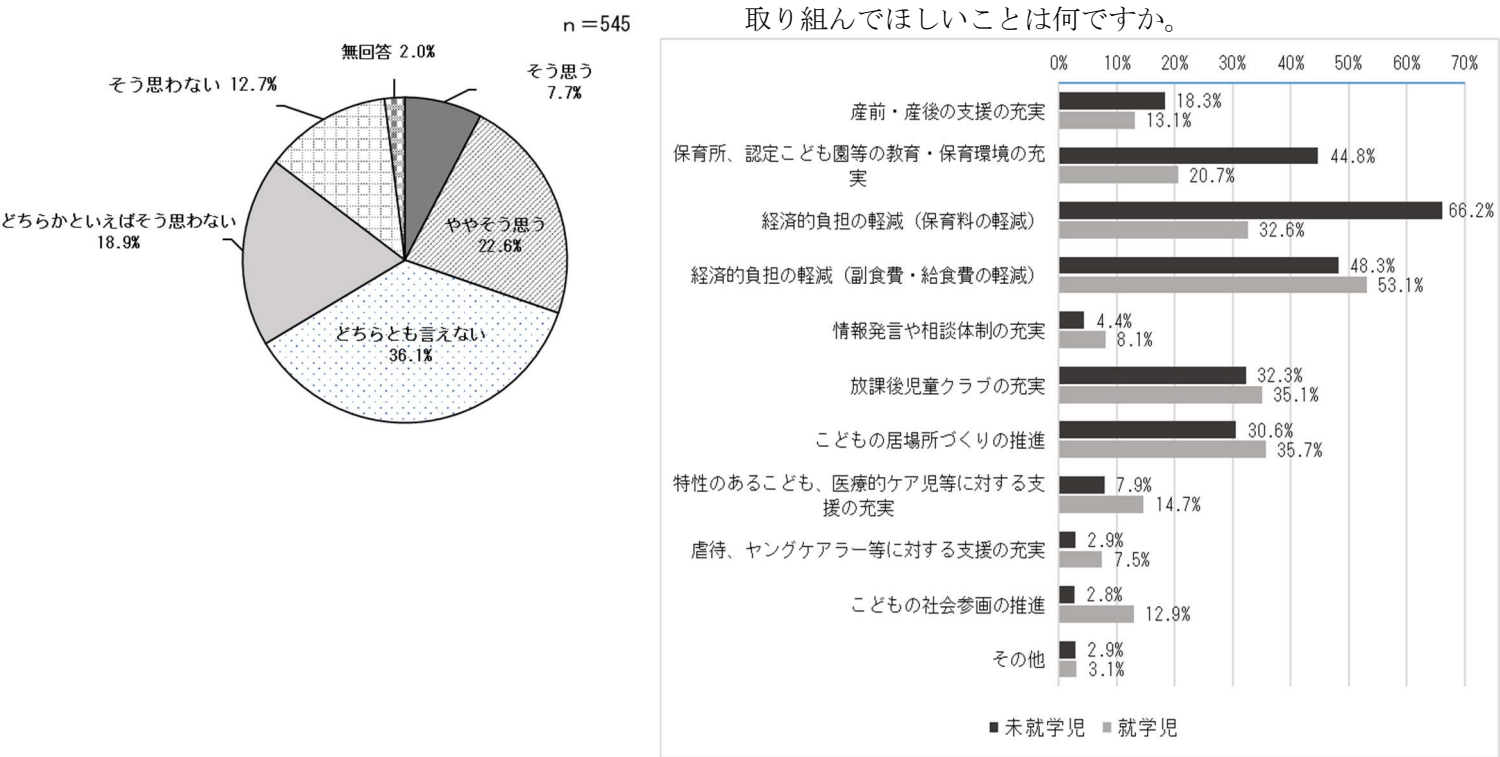
	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	1,000 票	545 票	54.5%
就学児童保護者	1,000 票	518 票	51.8%

- ・主なアンケート項目
市のこども施策、子育てについて感じること 等

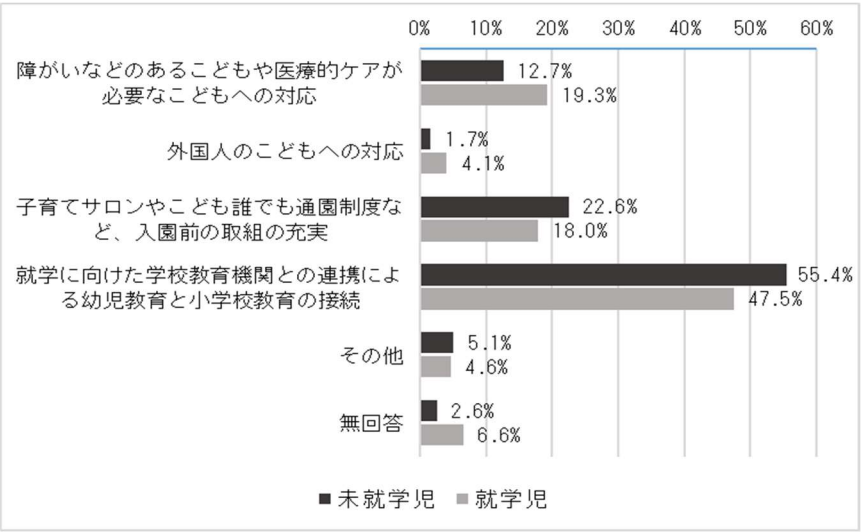
【アンケート結果】

①子育てが地域や社会で支えられていると感じますか。 ②市のこども施策に関する取り組みについて、重点的に

取り組んでほしいことは何ですか。



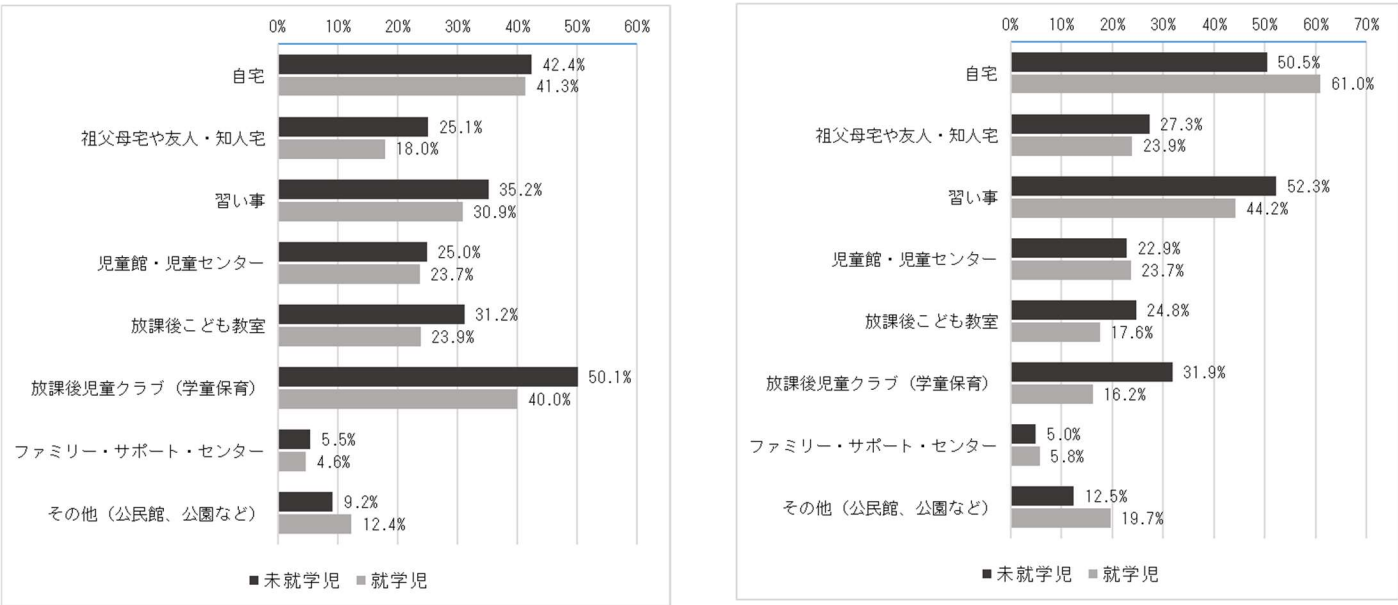
③今後、保育の質の向上を図る上で、重点的に取り組んでほしいことは何ですか。



④お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。

（低学年：1～3年生）

（高学年：4～6年生）



中学生・高校生のアンケート（抜粋）

【調査概要】

- ・調査期間：令和8年2月5日～令和8年3月23日
- ・調査方法：

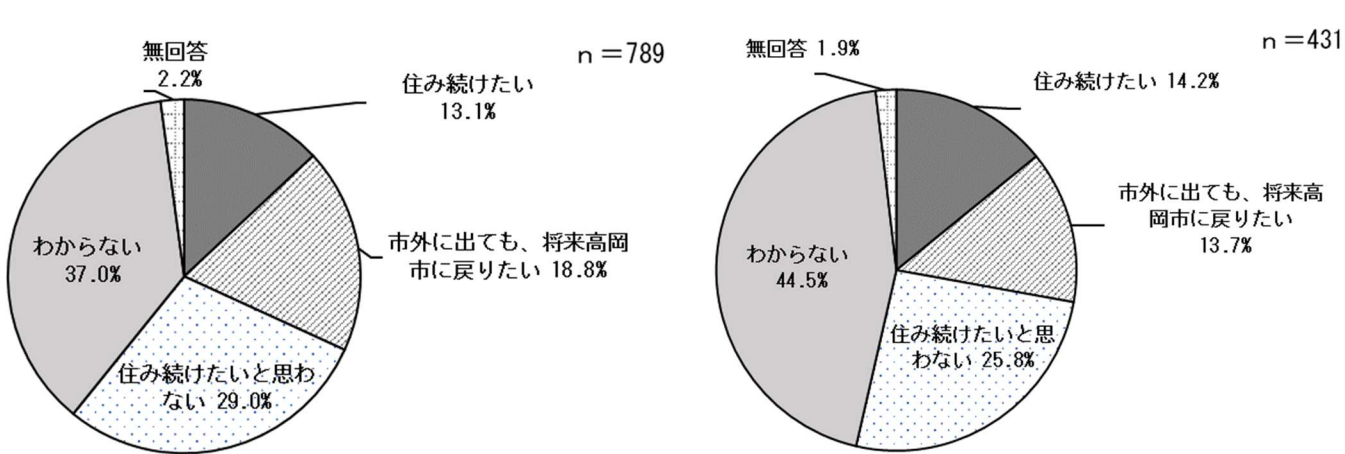
	調査対象	配布方法	配布数	回収数	回収率
中学生	中学2年生	各学校を通じて配布	1,228 票	789 票	64.2%
高校生	高校2年生及びその学年に該当する歳の方	郵送	1,345 票	431 票	32.0%

- ・主なアンケート項目
放課後等の過ごし方、居場所、将来に対する考え方 等

①将来、あなたは、高岡市に住み続けたいと思いますか。

（中学生）

（高校生）



「高岡市こども計画」では、基本目標の一つに「こどもの意見を大切にした施策づくり」を掲げ、こどもを権利の主体と捉え、こどもの意見を聴取する機会づくりに努めています。昨年度に引き続き、県と連携し、小中学生の意見を聞く機会を創出するため、未来を担う小学生、中学生が知事や市長と意見を交わす「こども意見表明交流会」を開催しました。

【開催概要】

・開催日時：令和8年8月25日（火）16時00分～17時30分 ・開催場所：高岡市役所 802会議室 ・参加者：高岡市内の小学5・6年生10名、高岡市内の中学生12名

テーマ「高岡市の魅力的なところについて」

高岡市のなかで、あなたが好きな、自慢したい、素敵だと思うところ・場所などを教えてください。・・・①

また、どんなことができれば、どんな場所があれば、もっと魅力的なまちになると思うかあなたの考えを教えてください。・・・②

		【小学生】	【中学生】
1	①	・瑞龍寺と金屋町の歴史 ・瑞龍寺は加賀藩二代目藩主前田利長公の菩提寺であり、高岡の繁栄があるのは利長公のおかげ。 ・ものづくり・デザイン科の授業で、金屋町の散策、錫製品製作体験を行った。	・歴史を感じる山町筋の土蔵造りの町並み。高岡のシンボルである大仏。大仏前で行われる「たかおか朝市」。
	②	・駅南と駅北を結ぶ観光バスで、市内を周遊できるようにすることで、観光地としての発展が期待できる。 ・「前田兄弟」をテーマにした大河ドラマを制作することで、多くの人が高岡に観光にきてくれるのではないかな。	・古くからある素敵な町並みや魅力的な建物を活かしきれていない。 ・空き家を活用した「文化交流の拠点」を提案。 ・歴史ある建物を活かし、高岡ならではの文化を見て体験して味わう空間があれば、観光客と地域住民が自然に交流する新しい賑わいが生まれるのではないかな。
2	①	・県無形民俗文化財の二上射水神社築山行事、御車山祭り、けんか山など地域に伝わる行事 ・二上射水神社築山行事に巫女として参加。一つの行事を守り伝えるために、多くの人々が思いを込めて準備を重ねていることを身をもって知り、伝統を守る重みを実感。	・高岡おとぎの森公園。こどもから高齢者まで幅広い世代に親しまれている。 ・佐野地区の井戸水、南条・木津小学校の井戸水、南星中学校の井戸水「星友の泉」は、地域の人や児童生徒に大変親しまれている。
	②	・高岡市には誇るべき素晴らしい歴史文化が生きていることを再発見。進んで高岡の歴史を学び、体験し、その魅力を多くの人に伝えていきたい。	・南星地区の冷たい地下水を活用し、魅力を高めたい。「星友の泉」の周りには自然と人が集い、人と人とのつながりが生まれている。 ・融雪パイプを活用し、地下水を打ち水として利用できないか。観光客も快適に過ごせるようになり、魅力が高まる。
3	①	・豊かな自然と歴史や文化が共存。伏木地区周辺には雨晴海岸、二上山、伏木港、古府小学校の桜並木、伏木けんか山がある。	・前田公墓所や瑞龍寺などの歴史的な建造物。 ・あいの風富山鉄道や城端線、氷見線が通っていて、県内だけでなく金沢市などへの通勤、通学も便利。北陸新幹線も通っていて、関東・関西方面にもスムーズにアクセスできる。さらに路線バスや、路面電車の万葉線もあり、公共交通機関が利用しやすい。
	②	・伏木地区を「伏木まるごと道の駅」とする。勝興寺、伏木港、雨晴海岸などを一つの観光エリアとして結び、町歩きを楽しめるようにする。（地元食材を使った食べ歩きのお店、ものづくり体験施設、海や山が見ながら温泉に入れる宿泊施設等） ・伏木の魅力を生かした新しいまちづくりが必要。	・進学や就職でこの地を離れることになっても、帰ってきたい場所。 ・何年先も、芳野地区の魅力が守られていってほしい。
4	①	・鋳物をはじめとした伝統工芸品と職人さんの技術。 ・「ものづくり・デザイン科」の授業で、原型づくりと鋳込み体験を実施。難しさや大変さを知った。 ・職人さんの姿から、長年の経験と努力の大切さや素晴らしさを感じた。また、ものをつくる楽しさを学んだ。	・地域の方々が登下校を見守ってくれたり、笑顔で挨拶してくれ、安心して生活できる環境がある、牧野地区が魅力的。また、自然が身近にあるため、落ち着いた雰囲気生まれている。 ・射水市とも隣り合っていて、2つの市を身近に感じながら暮らせることも自慢できる。
	②	・身近で職人さんの作品を見たり、気軽に鋳物体験することができる場所が増えるとうれしい。	・両市の特産品や文化を紹介する交流会、こどもたちが一緒に参加できる体験活動などがあれば、さらに魅力的になると考える。
5	①	・かかし祭り ・6年生もかかしづくりを行い、とても苦労したこと、かかし祭りに集まるかかしは、どれも努力の詰まったものと改めて感じた。	・戸出七夕まつりなど、昔から受け継がれてきた伝統行事が今も大切に守られているところ。 ・こどもから大人まで地域の人が協力して運営、準備をしており、笑顔あふれる温かい雰囲気と地域の人が力を合わせて伝統を守り続けていること。
	②	・かかし祭りの魅力をもっと多くの方々に知ってもらいたい。	・伝統を守るために、こどもも参加しやすいスタンプラリーなどのイベントを増やしたり、SNSなどでまつりの魅力を発信することで、より多くの人に知ってもらい、多くの世代や人が関わることで、地域のつながりがより強くなるのではないかな。
6	①	・自然豊かで水がきれいなところ。弓の清水という湧き水。ホテルも多く生息している。 ・中田の水がきれいであり続けるのは、地域の方々が、自分たちが住む地域を、自分たちの手できれいにするぞという思いで、地域の草むしりをしたりゴミ拾いをしたりしているから。	・自然と文化、つくりもん祭りがある福岡町。 ・青田、ハグロトンボといった自然。雅楽。300年以上の歴史をもつ、つくりもん祭り。
	②	・これからも、中田の魅力を守り伝えていきたい。	・自然の豊かさや福岡町独特の歴史や文化を、まずは多くの人々に知ってもらうことが重要。